

平成13年4月1日から  
平成14年3月31日まで

平成13年度（第55年度）

# 事業報告書・決算書

財団法人 三越厚生事業団

# 財団法人 三越厚生事業団 平成13年度（第55年度）事業報告

## はじめに

政局に対する期待感を背景に小康状態を保つかに見えた景気も、9月に襲った米国の同時多発テロを切っ掛けに、平和に対する不安感から再び厳しい景況感へと悪化していきました。

私たちを取り巻く環境も、中間法人法の成立とそれに伴う公益法人法の改革、情報開示の指導、公益法人会計基準の見直し等諮問機関による中間報告が提出され議論も活発に行われ、その指導も具体的になってきております。一方では当財団の公益事業の核である健診・診療事業に於いては、医療制度改革が活発に議論され診療報酬、薬価の見直しや医療制度の規制緩和はじめ医療費の逼迫からくる問題と透明性の確保からくる問題などがさまざまな角度から見直しを求められています。いずれにせよ、運営のポイントは、コンプライアンスと情報の開示と寄附行為に掲げた事業を、生活者の視点で着実に誠意を持って実行する事であります。この運営方針のもと厳しい環境下ではありますが、平成13年度の事業計画を展開してまいりました。

## 「総括」

事業展開にあたって、生活者のニーズを知りそして当財団職員の公益活動に対する参加意識を高める為に5つのプロジェクトを編成し、内外の多くの人の意見を吸収して組織の活性化と具体的な事業提案に努めました。

1. 危機管理チームは、マニュアル作成とヒヤリハットの共有化の仕組みを完成させ、事故予防および安全性の確保に努めました。更に平成14年度には、委員会として活動を強化して、事前の徹底と併せレベルアップを目指し万全の体制を確立いたします。

情報の開示については、平成14年度中実施に向けて準備が完了し、当財団のホームページを活用する方向で継続して進めてまいります。

2. 品質改善チームは、事業団医師を中心とした研究成果と、その外部に対する啓蒙への努力も活発で、海外への報告を含めた論文数は増加しております。この信頼性に重点をおいた地道な努力は、外来患者数の減少が指摘される中、当財団診療患者数の増加につながっております。更に研究課題の設定とチーム研究体制の強化を中心に、個々の能力向上と総合力の向上を目指したプログラムを提案し、その使命達成のため平成14年度は委員会を発足させる事とし、事業団として知識、

ノウハウを蓄積してまいります。

3. 健診改革プロジェクトは、21世紀に目指す健診をテーマに取り組み、新検査機の導入や高感度CRPなどオプションメニューを充実し、肥満、糖尿病、癌の診断に役立つと同時に生活習慣病の是正に貢献しております。異常値のみならず、異常となり得る可能性のある例についても、より健康になる事を目指して判定され、栄養・運動などの指導がされております。今後、この点を強化すべく追跡指導を行うため、平成14年度は当財団の業務推進部内に健康管理課を設け、経年のデータ管理をベースに生活習慣の改善に対する指導体制の確立を目指してまいります。
4. 環境改善チームは、外部機関を活用して当財団のサービスレベルを確認いたしました。生活者（患者、受診者）の厳しいナマの声に接し、意識改革と今後の働き方や行動の指標にして努力してまいります。
5. 公益活動拡大チームは、今までの活動を継続しておりますが時代も大きく変化しており、全ての事業を総ざらいすることからスタートいたしました。中でも29回になります三越医学研究助成は、動脈硬化と炎症を取り上げた研究の中できわめて優れた内容があり、小粒ながらキラリと光る研究として注目されるものであります。尚、平成14年度は医学研究助成も30回を迎え記念講演など計画し、将来にわたって小規模ながらキラリと耀く医学研究助成を拡大、継続してまいります。その他では、生活習慣病の予防啓蒙活動として健康セミナーを開催し好評頂いておりますので、回数の拡大など次年度に計画する予定でございます。その他の各公益活動も時代の変化に的確に対応しつつ充実させ、使命を果たすと共に生活者のニーズに敏感に応え、積極的に公益活動を展開して公共の利益の実現に努力いたします。

以上総括いたしました。この平成13年度は事業活動の充実とともに次の課題が明確になり、又多くの職員がその課題を認識し、その解決のために情報を共有した仕事の仕組みが構築されてきた1年と言えると思います。

# 財団法人 三越厚生事業団 平成13年度（第55年度）事業報告

当事業団は事業目的達成のため、下記の通りの活動を実施した。

## A. 公益事業

### 1. 低額による集団健診事業（寄附行為第4条第1号及び第2号）

予防医学面から地域、職域を対象とした総合健診活動及び家庭の主婦を中心とした女性健診を実施し、生活習慣病その他重要な疾病の予防及び早期発見に努めると共に、健診結果に基づき健診者の生活指導を積極的に行い健康の保持、増進に寄与した。

平成13年度の実施状況は次の通りである。

集団健診 123社又は団体

#### ○生活習慣病健診

検査内容	別表～①	6,809名
------	------	--------

#### ○女性健診

検査内容	別表～②	7,406名
------	------	--------

#### ○精密ドック

検査内容	別表～③	82名
------	------	-----

計		14,297名
---	--	---------

### 2. 研究助成（寄附行為第4条第1号）

#### （1）第29回三越医学研究助成（助成金総額1,000万円）

医学水準向上のため、すぐれた医学研究を格段に発展させることを目的として、東京都内の大学医学部、研究機関、病院等を対象に、当財団で定めた研究課題（注）について公募したところ、合計27件の応募があり選考委員会による厳正な審査の結果、助成対象者を下記の通り7名に決定、助成金をそれぞれ交付した。

## 第29回 三越医学研究助成対象者

氏名	年齢	所属機関	課題分類	研究課題	助成金
北村 正敬 <small>きたむら まさのり</small>	41歳	東京慈恵会医科大学 臨床医学研究所	A	糸球体腎炎による硬化糸球体の再生： 幹細胞移植を用いた腎糸球体細小血管網の再構築	150万円
佐田 政隆 <small>さた まさたか</small>	38	東京大学医学部附属病院 循環器内科	A	骨髄由来平滑筋前駆細胞の同定と機能解析－ その体内動態に炎症反応の及ぼす影響に関する検討	150
橘 政昭 <small>たちばな まさあき</small>	51	東京医科大学 泌尿器科学	B	サイトカイン産性能を標的とした転写因子抑制による泌尿器科癌悪液質の制御	150
福地 剛 <small>ふくち たけし</small>	36	慶應義塾大学 医学部産婦人科	B	血管内皮前駆細胞を標的としたヒト型モノクローナル抗体の作製と抗血管新生療法の開発	150
七里 眞義 <small>しちり まさよし</small>	45	東京医科歯科大学 医学部附属病院 内分泌・代謝内科	B	血管新生抑制シグナルによる遺伝子発現スペクトルを指標とした新規血管新生抑制因子の同定	150
谷口 維紹 <small>たにぐち たいしゅう</small>	53	東京大学大学院 医学系研究科 医学部・免疫学講座	C	自己免疫疾患の病態解明と制御法の開発	150
三宅 幸子 <small>みやけ さちこ</small>	39	国立精神神経センター 神経研究所 免疫研究部	C	NKT細胞を介した自己免疫疾患治療法の開発	100

(注) 研究課題

- A 動脈硬化と炎症
- B 腫瘍休眠療法 (Tumor dormancy therapy)
- C 自己免疫疾患の病態解明と治療の進歩

(2) 第2回海外留学渡航費助成 (助成金総額300万円)

海外留学を志す若手医学研究者をバックアップする為、留学費用の一部として渡航費の助成を東京都内の大学医学部、医学研究施設、病院等を対象に公募し、応募者の中から選考委員による厳正な審査の結果、対象者を下記の通り3名に決定、助成金をそれぞれ交付した。

## 第2回 海外留学渡航費助成対象者

氏名	年齢	所属機関	留学先	現在の専攻	研究課題	助成金
馬場 彰泰 <small>ばば あきやす</small>	33歳	北里研究所病院 内科 医長	ワレンベルグ研究所 (ヨーテボリ大学)	循環器科	異種間リンパ球移植による自己免疫モデルマウス作製 —拡張型心筋症の自己抗原による心病変の相違—	万円 50
中谷幸太郎 <small>なかやこうたろう</small>	32	東京女子医科大学 脳神経外科 助手	ピッツバーグ大学	脳神経外科学 放射線科学	神経幹細胞を用いた神経機能回復と神経保護療法に関する研究	50
酒向 淳 <small>さこう じゅん</small>	33	慶応大学病院 歯科口腔外科教室 助手	マインツ大学	歯科口腔外科学	顎顔面外科	50

### 3. 当財団役員並びに職員の研究成果の公表（寄附行為第4条第1号及び第2号・4号）

#### (1) 臨床的研究費の発表

平成12年度各種健診の統計的調査と観察成績を「事業年報」第28号に発表し、各職域健康保険組合及び関連財団法人等103団体へ配布した。

#### (2) 当財団医師等による研究結果の発表は以下の通りである。

##### ①当事業団医師等の学会における演題発表

氏名	参加月	名称	演題
船津和夫	4月	第98回日本内科学会総会	中年男性における肥満の生活習慣病関連因子に及ぼす影響
中村治雄	6月	第33回日本動脈硬化学会総会	高感度CRPと動脈硬化性疾患の治療
〃	〃	第22回日本老年学会総会	老年者高脂血症
〃	〃	第43回日本老年医学会学術集会	〃
〃	8月	第42回日本人間ドック学会	動脈硬化の新しい危険マーカーとその対応
〃	〃	〃	高脂血症治療の実際—正しい考え方
船津和夫	〃	〃	体重増加を示した中年男性において生活習慣病関連因子に与える影響は肥満者と非肥満者で異なる
本間優	〃	〃	健診における高感度CRP測定の有用性?—経年変化について—
中村治雄	10月	第42回東北医学検査学会	高感度CRP(hs CRP)測定の意義—動脈硬化性疾患を中心に—
船津和夫	1月	第30回日本総合健診医学会	女性におけるコーヒー飲用の生活習慣病関連因子への影響
寺田奈美	〃	〃	健診における高感度CRPの有用性
船津和夫	3月	第99回日本内科学会	男性におけるコーヒー飲用の生活習慣病関連因子への影響

②海外における学会発表

氏名	職種	参加月	名称	演題	開催地
中村 治雄	医師	5月	心臓財団講演会	国際的大規模臨床試験—日本の現状	オーストラリア
山下 毅	〃	9月	第14回国際脂質代謝薬会議	プラバスタチンの附加的効果の臨床的検討	アメリカ
中村 治雄	〃	3月	第3回アジア太平洋動脈硬化学会	Primary Prevention of Atherosclerosis — The MEGA Study	フィリピン

③当事業団医師の外部講演会（医師、放射線技師等への啓蒙活動）

氏名	参加月	名称	演題	開催地
中村 治雄	4月	大阪産婦人科医会学術講演会	閉経後の高脂血症治療	大阪市
〃	〃	秩父郡市医師会学術講演会	動脈硬化是正の為の高脂血症治療—最新情報—	秩父市
〃	5月	日医生涯教育講座学術講演会	高脂血症治療の為のスタチン系薬剤の使いわけ	長野市
〃	〃	リピトール学術講演会	高脂血症治療の実際	いわき市
〃	〃	第5回周防循環器勉強会	動脈硬化是正の為の血清脂質異常の治療	徳山市
〃	〃	安房医師会学術講演会	危険因子を有した患者さんへの高脂血症治療	館山市
〃	〃	真壁郡市医師会学術講演会	高脂血症治療の為のスタチン系薬剤の使いわけ	下館市
〃	〃	西宮医師会学術講演会	高脂血症治療の為のスタチン系薬剤の使いわけ	西宮市
〃	7月	日本医師会生涯教育講座	最新の高脂血症治療—正しい考えかた—	那覇市
〃	〃	堺医師会学術講演会	高脂血症治療の為のスタチン系薬剤の使いわけ	堺市
〃	〃	岡崎内科医会講演会	高脂血症治療の為のスタチン系薬剤の使いわけ	岡崎市
〃	〃	メバロチン学術講演会	高脂血症治療の為のスタチン系薬剤の使いわけ	神戸市
〃	9月	浜松医師会学術講演会	高脂血症治療の為のスタチン系薬剤の使いわけ	浜松市
〃	〃	茨城生活習慣病フォーラム	大規模臨床試験から学んだこと～プラバスタチンを中心に	つくば市
〃	〃	臨床医のための循環器疾患研究会	脳卒中のスタチンによる発症防止	宮崎市
〃	〃	高岡郡医師会学術講演会	高脂血症治療の為のスタチン系薬剤の使いわけ	高岡市
〃	〃	やいづ健康まつり講演会	高脂血症の予防と治療	焼津市
〃	〃	姫路内科医会研究会	高脂血症治療の為のスタチン系薬剤の使いわけ	姫路市
〃	〃	第3回市民のための生活習慣病講座	動脈硬化から身を守るには	宮崎市
〃	11月	第7回生活習慣病研究会学術講演会	脳卒中のスタチンによる発症防止	鹿児島市
〃	〃	姫路市医師会学術講演会	高脂血症治療の為のスタチン系薬剤の使いわけ	姫路市
〃	〃	高脂血症イブニングセミナー	高脂血症治療の為のスタチン系薬剤の使いわけ	安城市
〃	〃	青森市医師会学術講演会	高脂血症治療の実際—JUST Studyを中心に	青森市
〃	1月	第36回予防医学技術研究集会	動脈硬化症をめぐる新しい話題について	神戸市
〃	2月	平成13年度病院協議会研修会	高脂血症治療の最新情報～主として食事との関連～	仙台市
〃	〃	宇都宮内科医会学術講演会	高脂血症—放っておいたらどうなるの?—	宇都宮市
〃	3月	ラウンドテーブルディスカッション	糖尿病に合併した高脂血症の最新知見	前橋市
〃	〃	秋田県南生活習慣病セミナー	高脂血症の立場より	横手市

## ④当事業団医師の発表論文

論 文 名	氏 名	掲 載 雑 誌 名
高脂血症治療薬の減量・中止の指標	中村 治雄	日本医事新報 4015 : 92-93, 2001 (質疑応答)
若年男性からなる3大コホートにおける血清コレステロール基礎値と長期にわたる冠疾患・心血管系疾患・全死因による死亡、ならびに平均余命との関係	中村治雄(訳)	JAMA(日本語版) 22 : 38-46, 2001
若年成人における血清コレステロール高値の早期発見	中村治雄(訳)	JAMA(日本語版) 22 : 46-48, 2001
アルコール摂取とCRP	中村 治雄	日本医事新報 4018 : 32, 2001 (日常診療メモ)
Effect of a low-fat diet enriched with oleic acid on postprandial lipemia in patients with type 2 diabetes mellitus.	K. Higashi H. Nakamura et al.	Lipids 36 : 1-6, 2001
高齢者高脂血症とその治療 (対談)	中村 治雄 井藤 英喜	Geriatric Medicine 39 : 639-650, 2001
腎障害と高脂血症の治療 (対談)	中村 治雄 丸茂 文昭	Geriatric Medicine 39 : 821-832, 2001
リスクファクターからみた脳卒中・序にかえて	中村 治雄	Prog. Med. 21 : 7-8, 2001
リスクファクターからみた脳卒中・血清脂質治療薬	中村 治雄	Prog. Med. 21 : 68-72, 2001
Multiple Risk Factor Syndrome (対談)	中村 治雄 多田 紀夫	Geriatric Medicine 39 : 1007-1018, 2001
疲労回復	中村 治雄	WEDGE Club 10(8) : 3-5, 2001
血友病と冠動脈疾患	中村 治雄	心臓 33(8) : 659-660, 2001
治療目標となる高脂血症	中村 治雄	日本医事新報 4035 : 32, 2001 (日常診療メモ)
A comparison low low versus standard dose Pravastatin therapy for the prevention of cardiovascular events in the elderly : The pravastatin anti-atherosclerosis trial in the elderly (PATE)	H. Itou H. Nakamura et al.	J. Atherosclerosis Thrombosis 8 : 33-44, 2001
Expression of matrix metalloproteinase 3 in experimental atherosclerotic plaques	Y. Okamoto H. Nakamura et al.	J. Atherosclerosis Thrombosis 8 : 50-54, 2001
血清脂質と炎症マーカー	中村 治雄	Medic 36 : 19, 2001
動脈硬化は正のためのスタチン系薬物の使い分け	中村 治雄	岡崎医報 259 : 3-4, 2001 (9月)
高脂血症診療ガイドラインの使い方	中村 治雄	JIM 11(10) : 888-890, 2001
40代でもご用心! 動脈硬化	中村 治雄	日経ビジネス 1114 : 82, 2001
コレステロールの異常	中村 治雄	循環plus 2 : 2-5, 2001
食生活パターンと冠動脈疾患	中村 治雄	日本医事新報 4046 : 47, 2001 (日常診療メモ)
小型LDLとその臨床的意義 (対談)	中村 治雄 芳野 原	Geriatric Medicine 39 : 1799-1810, 2001
大豆タンパク質摂取およびビタミンE補充が血清脂質に及ぼす影響と安全性に関する検討	東 賢治 中村 治雄 他	大豆タンパク質研究 4 : 142-145, 2001
大豆タンパク質の血清コレステロール低下作用とコレステロール7 $\alpha$ 水酸化酵素A-204C遺伝子多型との関連	田畑 普司 中村 治雄 他	大豆タンパク質研究 4 : 146-150, 2001
動脈硬化とCRP	山下 毅 中村 治雄	総合臨床 51 : 425・426, 2002



#### 4. 生活習慣病健診報告懇話会並びに講演会を開催（寄附行為第4条第4号）

当事業団で集団健診を行っている各職域の企業並びに健康保険組合の参加を得て、小講演会を開催すると共に生活習慣病健診所見に基づいて参加者と意見の交換を行い、今後の健診事業活動の参考とすべく開催された。

実施日：平成13年11月20日（火）  
参加組合数：27事業所及び健康保険組合  
参加人員：58名  
講演テーマ：「健診結果を利用して生活習慣病を予防しよう」  
講師：三越総合健診センター長 船津和夫

#### 5. 第2回健康セミナーを開催（寄附行為第4条第4号）

昨年に引き続き、「生活習慣病」をテーマに、新聞等の媒体を介して広く一般の方々から参加を募り、健康セミナーを開催した。内容は以下の通り。

実施日：平成13年11月7日（水）  
参加人員：380名  
講演会テーマ：  
1. 「血液中の脂肪を正常に保つために」  
講師：中村 治雄（三越厚生事業団常務理事）  
2. 「具体的な食生活は？」  
講師：中村 丁次（聖マリアンナ医科大学病院栄養部部长）  
3. 体験談とパネルディスカッション  
パネラー：財津 一郎（俳優）  
中村 治雄

6. 無料奉仕の健診を次の通り行った。(寄附行為第4条第1号)

	延 人 員	2,029名
○信 愛 寮 (老人ホーム)	血液検査 (18A・4A項目)	360名
	胸部X線撮影	267名
	心電図	339名
○聖 明 園 (盲・老人ホーム)	血液検査 (18A・4A項目)	404名
	胸部X線撮影	217名
	心電図	127名
○サンホーム (老人ホーム)	血液検査 (18A・4A項目)	55名
	胸部X線撮影	80名
	心電図	54名
○滝乃川学園 (精神薄弱者更生施設)	血液検査 (18A・4A項目)	76名
○至誠学舎 (老人ホーム)	胸部X線撮影	50名

7. 健康保持及び増進のための援助活動 (寄附行為第4条第2号)

(1) 援助金を次の通り交付した。

○財団法人 がんの子供を守る会	10万円
○社会福祉法人 聖明福祉協会 (盲・老人の健康増進事業)	20万円
○財団法人 日本万歩クラブ (精神と身体の健康増進事業)	70万円

(2) 競技大会への協力

(イ) 健康の保持増進を目的とした東京都主催の児童福祉施設競技大会に以下の通り寄贈を行った。

○ バレーボール、ドッジボール

日 程 : 7月25日 (木)

場 所 : 東京体育館

寄贈品 : バレーボール 公認ボール 13個

〃 : ドッジボール 公認ボール 19個

尚、選手参加賞としてノートを1,060名に寄贈した。

○ 野球大会

日 程 : 7月28日 (土) ~29日 (日)

場 所 : 調布市多摩川少年野球場

寄贈品 : 野球用具 13セット

(ロ) 三多摩地区の養護施設児童の体力向上を目的とした東京都後援による駅伝・マラソン大会に参加賞を寄贈した。

スポーツタオル 500枚 (於 国営昭和記念公園) 2月11日(月)

#### 8. 健康相談事業(寄附行為第4条第3号)

- ・生活習慣病健診を受診された方で、食事指導が必要な方に保健婦による食べ物のサンプルを用いた栄養指導を行い、年間198名の方が指導を受けられた。
- ・今後も事業団として受入れ体制や広報の方法等について、引き続き検討していく。

#### 9. 保健衛生思想の普及広報活動(寄附行為第4条第4号)

保健衛生思想の普及のため、広報活動を次の通り実施した。

##### 社会福祉・保健衛生思想の普及キャンペーンの展開

JR新宿駅東口、スタジオ・アルタ壁面のビデオサインにより下記テーマで、キャンペーンを展開した。

- がん征圧月間 9月上・下旬
- 老人保健福祉週間 9月中旬

JR新宿駅東口、スタジオ・アルタ壁面のビデオサインにより下記テーマで、キャンペーンを展開した。

- 生活習慣病予防週間 2月上旬
- 生活習慣病予防告知 2月上・下旬

## B. 診 療 事 業 （寄附行為第4条第5号）

診療患者延数、職域入社、定期健診延数は次の通りである。

総 延 数		32,555名
（1）延数内訳		
内 科		23,968名
予防注射		386名
職域入社・定期健診	134社又は団体	8,201名
（2）種目別内訳とその適用患者数		
国民健康保険		8,784名
社会保険（政府管掌）		2,732名
〃（組合管掌）		11,551名
〃（その他）		1,088名
自 費		199名
職域入社・定期健診		8,201名

毎年実施している新宿区・中野区役所主催の区民を対象にした成人健康診査は、延2,236名で昨年に較べ397名の増であった。

# 検 査 項 目 一 覧 表

(別 表)

検 査 内 容		① 生活習慣病健診	② 女 性 健 診	③ 精 密 ド ッ ク
診察・血圧・問診		○	○	○
身長・体重・肥満度		○	○	○
胸 囲				○
視 力		○		○
眼 科	眼底写真	○	○	○
	眼内圧測定			○
聴 力		○		○
胸部 X 線撮影		間 接	間 接	直 接
食道 X 線撮影		間 接		直 接
胃・十二指腸 X 線撮影		間 接	間 接	直 接
心 電 図		○	○	○
腹部超音波断層検査		○	○	○
肺機能 (スパイロメーター)・喀痰細胞診				○
検 尿	尿糖・蛋白・潜血	○	○	○
	ウロビリノーゲン・PH	○		○
	比重・ビリルビン			○
	尿沈渣	蛋白・潜血陽性時	蛋白・潜血陽性時	蛋白・潜血陽性時
検 便	潜血反応	○	○	○
	寄生虫卵			○
赤 沈				○
肝 機 能	総蛋白、アルブミン・A/G・総ビリルビン・コリンエステラーゼ・ALP・ $\gamma$ -GTP・GOT・GPT・LDH・ZTT・LAP	○	○	○
	蛋白分画			○
	HBs抗原	○		○
	HCV抗体	○		○
腫瘍マーカー				○
痛風・リウマチ	尿 酸	○	○	○
	ASLO・CRP・RA			○
脂 質 代 謝	総コレステロール・中性脂肪・LDL-C	○	○	○
	HDL-C	○		○
	アポAI・B・E			○
血 清 検 査	高感度CRP	○	○	
	血液型 (ABO型、Rh型)			○
	梅毒反応			○
糖 代 謝 及 び 膵 機 能	血 糖	○	○	○
	HbA <sub>1c</sub> ・フルクトサミン・1,5-AG			○
	アミラーゼ	○		○
腎 機 能	尿素窒素・クレアチニン	○	○	○
	Na・Cl・K			○
血 液 一 般	赤血球数・Hb・Ht・MCV・MCH・MCHC	○	○	○
	白血球数・血小板数			○
	血 液 像			○
乳 腺	診 察	○	○	
	診察と画像診断			○
婦 人 科		○	○	○

## 主 要 庶 務 事 項

### \*評 議 員 会

平成13年4月26日（木） 於 株式会社三越本社7階会議室

- 議 題
1. 評議員会議事録署名人選任の件
  2. 平成12年度予算額一部補正案審議の件
  3. 平成12年度（第54年度）事業報告案及び収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表並びに財産目録案審議の件
  4. 理事7名選任の件
  5. 監事3名選任の件
  6. 顧問1名推薦の件

### \*理 事 会

平成13年4月26日（木） 於 株式会社三越本社7階会議室

- 議 題
1. 理事会議事録署名人選任の件
  2. 平成12年度予算額一部補正案承認の件
  3. 平成12年度（第54年度）事業報告案及び収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表並びに財産目録案承認の件
  4. 評議員16名選任の件
  5. 顧問1名委嘱の件

### \*理 事 会

平成13年4月26日（木） 於 株式会社三越本社7階会議室

- 議 題
1. 理事会議事録署名人選任の件
  2. 理事長互選の件
  3. 常務理事互選の件
  4. 理事報酬の件
  5. 顧問報酬の件

### \*評 議 員 会

平成14年3月27日（水） 於 株式会社三越SDビル8階会議室

- 議 題
1. 評議員会議事録署名人選任の件
  2. 平成14年度（第56年度）事業計画案及び収支予算案審議の件

### \*理 事 会

平成14年3月27日（水） 於 株式会社三越SDビル8階会議室

- 議 題
1. 理事会議事録署名人選任の件
  2. 平成14年度（第56年度）事業計画案及び収支予算案承認の件

\*登 記 事 項

- 平成13年4月26日 井上 和雄 氏 理事就任
- 平成13年4月26日 高見 信雄 氏 理事就任
- 平成13年4月26日 中村 治雄 氏 理事就任
- 平成13年4月26日 上原 明 氏 理事就任
- 平成13年4月26日 細野 清士 氏 理事就任
- 平成13年4月26日 大賀 啓三 氏 理事就任
- 平成13年4月26日 奈良 昌治 氏 理事就任

- 平成13年5月21日 資産総額を登記

\*そ の 他

- 平成13年4月26日 河村 貢 氏 監事就任
- 平成13年4月26日 市橋 保雄 氏 監事就任
- 平成13年4月26日 津田 尚二 氏 監事就任
- 平成13年4月26日 築山 信治 氏 顧問就任

収 支 計 算 書 総 括 表

平成13年4月1日から  
平成14年3月31日まで

I 収入の部

科 目	合 計	一 般 会 計	診療事業特別会計	備 考
財 産 運 用 収 入	円 120,652,462	円 120,652,462	円 0	
事 業 収 入	749,991,385	414,077,788	335,913,597	
低額集団健診事業収入等	414,077,788	414,077,788	0	
診 療 事 業 収 入	335,913,597	0	335,913,597	
雑 収 入	46,514,959	44,845,290	1,669,669	
特 定 預 金 取 崩 収 入	0	0	0	
繰 入 金 収 入	7,346,000	7,346,000	0	特別会計より
当 期 収 入 合 計 (A)	924,504,806	586,921,540	337,583,266	
前 期 繰 越 収 支 差 額	991,170,084	832,365,057	158,805,027	
収 入 合 計 (B)	1,915,674,890	1,419,286,597	496,388,293	

II 支出の部

科 目	合 計	一 般 会 計	診療事業特別会計	備 考
事 業 費	円 759,115,128	円 458,265,708	円 300,849,420	
低額集団健診事業費等	458,265,708	458,265,708	0	
診 療 事 業 費	300,849,420	0	300,849,420	
管 理 費	184,824,450	184,824,450	0	
繰 入 金 支 出	7,346,000	0	7,346,000	一般会計へ
法 人 税 等	7,653,500	0	7,653,500	
当 期 支 出 合 計 (C)	958,939,078	643,090,158	315,848,920	
当 期 収 支 差 額 (A)-(C)	△ 34,434,272	△ 56,168,618	21,734,346	
次 期 繰 越 収 支 差 額 (B)-(C)	956,735,812	776,196,439	180,539,373	



## 収 支 計 算 書 (一般会計)

### I 収入の部

平成13年4月1日から  
平成14年3月31日まで

勘 定 科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大 科 目				
基本財産運用収入	円 120,665,000	円 120,652,462	円 12,538	
	120,600,000	120,598,518	1,482	
	65,000	53,944	11,056	
事 業 収 入	415,200,000	414,077,788	1,122,212	
	415,000,000	414,068,338	931,662	
	200,000	9,450	190,550	
雑 収 入	22,235,000	44,845,290	△ 22,610,290	
	21,935,000	43,991,102	△ 22,056,102	
	300,000	854,188	△ 554,188	
特定預金取崩収入	3,000,000	0	3,000,000	
	3,000,000	0	3,000,000	
繰入金収入	1,200,000	7,346,000	△ 6,146,000	特別会計より
	1,200,000	7,346,000	△ 6,146,000	
当 期 収 入 合 計 (A)	562,300,000	586,921,540	△ 24,621,540	
前 期 繰 越 収 支 差 額	917,841,000	832,365,057	85,475,943	
収 入 合 計 (B)	1,480,141,000	1,419,286,597	60,854,403	

## Ⅱ 支出の部

勘定科目		予 算 額			決 算 額	差 異	備 考
大 科 目	中 科 目	予 算 額	流 用 額	計			
		円	円	円	円	円	
事業費		530,000,000	0	530,000,000	458,265,708	71,734,292	
1)低額集団 健診事業費 (生活習慣病 その他重要 な疾病の予 防及び健康 の保持・増 進に関する 支出)		477,000,000	0	477,000,000	420,911,300	56,088,700	
	1. 給 料	125,000,000	0	125,000,000	105,438,472	19,561,528	
	2. 手 当	52,000,000	0	52,000,000	45,249,251	6,750,749	
	3. 退 職 金	3,000,000	0	3,000,000	0	3,000,000	
	4. 福利厚生費	24,700,000	0	24,700,000	21,751,946	2,948,054	
	5. 旅費交通費	5,400,000	0	5,400,000	4,464,230	935,770	
	6. 臨時雇賃金	24,000,000	0	24,000,000	22,992,700	1,007,300	
	7. 通 信 費	4,000,000	0	4,000,000	2,021,749	1,978,251	
	8. 什器備品費	1,000,000	0	1,000,000	738,182	261,818	
	9. 機器リース料	44,000,000	0	44,000,000	38,874,052	5,125,948	
	10. 検査・材料費	56,000,000	△ 1,193,354	54,806,646	50,715,839	4,090,807	⑩へ流用減
	11. 消耗品費	6,500,000	1,193,354	7,693,354	7,693,354	0	⑩より流用増
	12. 修繕費	13,000,000	0	13,000,000	11,585,233	1,414,767	
	13. 印刷製本費	4,500,000	0	4,500,000	3,391,018	1,108,982	
	14. 水道光熱費	4,000,000	62,242	4,062,242	4,062,242	0	⑮より流用増
	15. 借 室 料	69,200,000	△ 62,242	69,137,758	69,018,816	118,942	⑩へ流用減
	16. 火災保険料	100,000	0	100,000	24,867	75,133	
	17. 租 税 公 課	18,500,000	△ 793,511	17,706,489	10,067,070	7,639,419	⑩⑳へ流用減
	18. 共 益 費	16,500,000	0	16,500,000	16,428,768	71,232	
	19. 清 掃 費	1,100,000	34,191	1,134,191	1,134,191	0	⑰より流用増
	20. 雑 費	4,500,000	759,320	5,259,320	5,259,320	0	⑰より流用増
2)研究事業費 (生活習慣病 その他重要 な疾病の予 防及び治療 方法に関する 研究への 助成支出)		25,000,000	0	25,000,000	17,914,832	7,085,168	
	1. 旅費交通費	1,500,000	0	1,500,000	885,831	614,169	
	2. 助成金送附礼金	1,000,000	0	1,000,000	555,555	444,445	
	3. 講演謝礼金	100,000	0	100,000	99,999	1	
	4. 通 信 費	100,000	0	100,000	26,590	73,410	
	5. 消耗品費	100,000	0	100,000	49,389	50,611	
	6. 印刷製本費	300,000	△ 16,570	283,430	160,650	122,780	⑦へ流用減
	7. 図書購入費	1,000,000	16,570	1,016,570	1,016,570	0	⑥より流用増
	8. その他研究費	300,000	0	300,000	0	300,000	

勘定科目		予算額			決算額	差異	備考
大科目	中科目	予算額	流用額	計			
		円	円	円	円	円	
	9. 雑費	3,500,000	0	3,500,000	313,138	3,186,862	
	10. 医学研究助成金	10,000,000	0	10,000,000	10,000,000	0	
	11. 渡航助成金	3,000,000	0	3,000,000	1,500,000	1,500,000	
	12. 健診報告会費	1,000,000	0	1,000,000	988,525	11,475	
	13. 学会費	1,500,000	0	1,500,000	1,169,235	330,765	
	14. 諸会費	1,600,000	0	1,600,000	1,149,350	450,650	
3)健康保持 増進援助費 (生活習慣病 その他重要 な疾病の予 防及び健康 保持・増進 を目的とす る事業への 支出)		15,000,000	0	15,000,000	9,821,160	5,178,840	
	1. 旅費交通費	100,000	0	100,000	64,535	35,465	
	2. 臨時雇賃金	300,000	0	300,000	171,000	129,000	
	3. 通信費	10,000	0	10,000	0	10,000	
	4. 検査・材料費	11,800,000	0	11,800,000	6,937,367	4,862,633	
	5. 雑費	390,000	△ 359,165	30,835	8,788	22,047	⑦へ流用減
	6. 健康保持増進援助費	2,000,000	0	2,000,000	1,880,305	119,695	
	7. 援助費	400,000	359,165	759,165	759,165	0	⑤より流用増
4)健康相談 事業費 (健康相談へ の支出)		6,000,000	0	6,000,000	4,245,268	1,754,732	
	1. 臨時雇賃金	2,330,000	0	2,330,000	1,122,220	1,207,780	
	2. 什器備品費	100,000	0	100,000	0	100,000	
	3. 機器リース料	200,000	0	200,000	0	200,000	
	4. 消耗品費	100,000	0	100,000	0	100,000	
	5. 借室料	2,560,000	0	2,560,000	2,551,008	8,992	
	6. 租税公課	10,000	0	10,000	900	9,100	
	7. 共益費	600,000	0	600,000	571,140	28,860	
	8. 雑費	100,000	0	100,000	0	100,000	
5)保健衛生 思想普及費 (保健衛生思 想の普及へ の支出)		7,000,000	0	7,000,000	5,373,148	1,626,852	
	1. 通信費	200,000	0	200,000	16,430	183,570	
	2. 印刷製本費	1,500,000	△ 623,818	876,182	0	876,182	④へ流用減
	3. 雑費	300,000	0	300,000	0	300,000	
	4. 広報費	4,000,000	623,818	4,623,818	4,623,818	0	②より流用増
	5. 機関誌発刊費	1,000,000	0	1,000,000	732,900	267,100	

勘定科目		予 算 額			決 算 額	差 異	備 考
大 科 目	中 科 目	予 算 額	流 用 額	計			
		円	円	円	円	円	
管 理 費		196,000,000	0	196,000,000	184,824,450	11,175,550	
	1. 役員報酬	32,000,000	△ 1,273,095	30,726,905	28,720,000	2,006,905	③へ流用減
	2. 給料	33,000,000	△ 608,295	32,391,705	32,083,121	308,584	⑥⑦へ流用減
	3. 手当	16,000,000	1,273,095	17,273,095	17,273,095	0	①より流用増
	4. 福利厚生費	10,000,000	0	10,000,000	9,789,689	210,311	
	5. 旅費交通費	2,200,000	0	2,200,000	2,054,065	145,935	
	6. 臨時雇賃金	0	331,750	331,750	331,750	0	②より流用増
	7. 会議費	1,700,000	276,545	1,976,545	1,976,545	0	②より流用増
	8. 交際費	2,000,000	0	2,000,000	1,955,827	44,173	
	9. 通信費	700,000	0	700,000	541,899	158,101	
	10. 什器備品費	500,000	0	500,000	477,404	22,596	
	11. 機器リース料	2,500,000	0	2,500,000	2,058,225	441,775	
	12. 消耗品費	1,400,000	△ 18,336	1,381,664	1,229,572	152,092	⑬へ流用減
	13. 修繕費	1,400,000	18,336	1,418,336	1,418,336	0	⑭より流用増
	14. 印刷製本費	1,000,000	0	1,000,000	818,311	181,689	
	15. 水道光熱費	1,300,000	8,584	1,308,584	1,308,584	0	⑯より流用増
	16. 借室料	73,500,000	△ 8,584	73,491,416	73,454,952	36,464	⑮へ流用減
	17. 火災保険料	100,000	0	100,000	24,867	75,133	
	18. 租税公課	1,000,000	0	1,000,000	689,320	310,680	
	19. 共益費	5,500,000	0	5,500,000	5,476,248	23,752	
	20. 清掃費	500,000	0	500,000	50,028	449,972	
	21. 雑費	9,700,000	0	9,700,000	3,092,612	6,607,388	
予 備 費		754,141,000	0	754,141,000	0	754,141,000	
	予 備 費	754,141,000	0	754,141,000	0	754,141,000	
当 期 支 出 合 計 (C)		1,480,141,000	0	1,480,141,000	643,090,158	837,050,842	
当 期 収 支 差 額(A)-(C)		△917,841,000	0	△917,841,000	△56,168,618	△861,672,382	
次 期 繰 越 収 支 差 額(B)-(C)		0	0	0	776,196,439	△776,196,439	

## 正味財産増減計算書総括表

### I 増加の部

平成13年4月1日から  
平成14年3月31日まで

科 目	合 計	一 般 会 計	診療事業特別会計
資 産 増 加 額	△ 34,434,272円	△ 56,168,618円	21,734,346円
負 債 減 少 額	0	0	0
増 加 額 合 計	△ 34,434,272	△ 56,168,618	21,734,346

### II 減少の部

科 目	合 計	一 般 会 計	診療事業特別会計
資 産 減 少 額	11,516,833円	11,516,833円	0円
負 債 増 加 額	0	0	0
減 少 額 合 計	11,516,833	11,516,833	0
当期正味財産増減額	△ 45,951,105	△ 67,685,451	21,734,346
前期繰越正味財産額	2,574,335,435	2,296,555,999	277,779,436
期末正味財産合計額	2,528,384,330	2,228,870,548	299,513,782

正味財産増減計算書（一般会計）

平成13年4月1日から  
平成14年3月31日まで

I 増加の部

勘定科目		金額		
大科目	中科目			
資産増加額	当期収支差額	円 △56,168,618	円 △56,168,618	円
負債減少額	退職給与引当金取崩額	0		
増加額	合計 (A)			△56,168,618

II 減少の部

勘定科目		金額		
大科目	中科目			
資産減少額	建物造作償却額	円 5,433,811	円 11,516,833	円
	建物附属設備償却額	5,973,493		
	器具備品償却額	109,529		
	退職給与引当預金取崩額	0		
負債増加額			0	
減少額	合計 (B)			11,516,833
当期正味財産減少額 (C)=(A)-(B)				△67,685,451
前期繰越正味財産額 (D)				2,296,555,999
期末正味財産合計額 (E)=(C)+(D)				2,228,870,548

## 貸借対照表総括表

### I 資産の部

平成14年3月31日現在

科 目	合 計	一 般 会 計	診療事業特別合計
流動資産合計	1,103,159,918円	785,803,676円	317,356,242円
固定資産合計	1,602,296,009	1,602,296,009	0
資 産 合 計	2,705,455,927	2,388,099,685	317,356,242

### II 負債の部

科 目	合 計	一 般 会 計	診療事業特別合計
流動負債合計	27,449,697円	9,607,237円	17,842,460円
固定負債合計	149,621,900	149,621,900	0
負 債 合 計	177,071,597	159,229,137	17,842,460

### III 正味財産の部

科 目	合 計	一 般 会 計	診療事業特別会計
正 味 財 産	2,528,384,330 円	2,228,870,548 円	299,513,782 円
(うち基本金)	( 1,035,878,174 )	( 1,035,878,174 )	( 0 )
(うち元入金)	( 118,974,409 )	( 0 )	( 118,974,409 )
(うち当期正味財産合計)	( △ 45,951,105 )	( △ 67,685,451 )	( 21,734,346 )
負債及び正味財産合計	2,705,455,927	2,388,099,685	317,356,242

## 貸借対照表（一般会計）

### I 資産の部

平成14年3月31日現在

勘定科目		金額		
大科目	中科目			
流動資産		円	円	
	現金預金	△223,131,728		
	有価証券	974,622,700		
	未収入金	32,538,573		
	貯蔵品	1,058,508		
	前払費用	715,623		
流動資産合計(A)			785,803,676	
固定資産	基本財産			
	有価証券	985,878,174		
	定期預金	50,000,000		
	基本財産合計(B)		1,035,878,174	
	有形固定資産			
	建物造作	115,317,566		
	建物附属設備	35,526,918		
	器具備品	834,418		
	有形固定資産合計(C)		151,678,902	
	その他の固定資産			
敷金	146,142,624			
元入金	118,974,409			
退職給与引当預金	36,621,900			
減価償却引当預金	113,000,000			
その他の固定資産合計(D)		414,738,933		
固定資産合計(E)=(B)+(C)+(D)			1,602,296,009	
資産合計(F)=(A)+(E)			2,388,099,685	



## Ⅱ 負債の部

勘定科目		金額	
大科目	中科目		
流動負債		円	円
	買掛金	5,042,096	
	未払金	60,408	
	預り金	4,504,733	
流動負債合計 (G)			9,607,237
固定負債			
	退職給与引当金	36,621,900	
	減価償却引当金	113,000,000	
固定負債合計 (H)			149,621,900
負債合計 (I) = (G) + (H)			159,229,137

## Ⅲ 正味財産の部

勘定科目		金額	
大科目	中科目		
正味財産		円	円
	正味財産	2,228,870,548	
	(うち基本金)	(1,035,878,174)	
	(うち当期正味財産増減額)	(△ 67,685,451)	
正味財産合計 (J)			2,228,870,548
負債及び正味財産合計 (K) = (I) + (J)			2,388,099,685

注 1. 基本財産たる資産：(株)三越株式 40,199,506株 985,878,174 円  
 定期預金 50,000,000 円

2. 固定資産償却累計額は下記の通り

建物造作	51,556,519 円
建物附属設備	122,348,782 円
器具備品	13,651,797 円
合計	187,557,098 円

## 計 算 書 類 に 対 す る 注 記

### 1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

投資有価証券……総平均法による原価基準を採用している。

(2) 固定資産の減価償却について

建物及び備品……定率法による減価償却を実施している。

(3) 引当金の計上基準について

退職給与引当金……期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

(4) 資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金、有価証券、未収入金、未払金、前払費用、買掛金、貯蔵品、預り金を含めることになっている。

なお、前期末及び当期末残高は3.に記載のとおりである。

(5) 消費税の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 基本財産の残高は次のとおりである。

種 類	科 目	前 期 末 残 高	当 期 増 加 額	当 期 末 残 高
基本財産 (基本金)	有 価 証 券	985,878,174円	0円	985,878,174円
	定 期 預 金	50,000,000円	0円	50,000,000円

### 3. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

科 目	前 期 末 残 高	当 期 末 残 高
現 金 預 金	32,795,511 円	51,246,927 円
有 価 証 券	1,024,732,700	974,622,700
未 収 入 金	75,264,140	72,238,319
貯 蔵 品	4,754,292	4,336,349
前 払 費 用	1,250,217	715,623
合 計	1,138,796,860	1,103,159,918
買 掛 金	15,925,022	15,218,723
預 り 金	4,313,796	4,504,733
未 払 金	8,413,549	7,726,241
元 入 金	118,974,409	118,974,409
合 計	147,626,776	146,424,106
次 期 繰 越 収 支 差 額	991,170,084	956,735,812

財 産 目 録 ( 一 般 会 計 )

平成14年3月31日現在

区 分	所在・数量等	基本財産	運用財産	合 計
(資産の部)		円	円	円
I 流動資産				785,803,676
1. 現金預金			△223,131,728	
(1) 現金	手許有高 796,882 円			
(2) 普通預金	三井住友銀行新宿通支店 △226,140,741 円			
(3) “	東京三菱銀行新宿中央支店 1,818,131 円			
(4) 自由金利型定期預金	三井住友銀行新宿通支店 394,000 円			
2. 有価証券			974,622,700	
(1) 有価証券	M.M.F. 1,000,000 円			
(2) “	F.F.F. 30,000,000 円			
(3) “	中期国債ファンド 19,890,000 円			
(4) “	国債 100,000,000 円			
(5) “	“ 299,700,000 円			
(6) “	ユーロ円債 200,000,000 円			
(7) “	“ 100,000,000 円			
(8) “	“ 100,000,000 円			
(9) “	“ 100,000,000 円			
(10) 保険積立金	三井住友海上火災保険株式会社 24,032,700 円			
3. 未収入金	集団健診料金他		32,538,573	
4. 貯蔵品	薬品その他諸材料		1,058,508	
5. 前払費用	労働保険料		715,623	
II 固定資産				1,602,296,009
1. 建物造作	明細…別表(1)		115,317,566	
2. 建物附属設備	“ (2)		35,526,918	
3. 器具備品	“ (3)		834,418	
4. 有価証券	(株)三越株式…別表(4)	985,878,174		
5. 定期預金	自由金利型定期預金	50,000,000		
6. 敷金	エステック(株)		146,142,624	
7. 元入金			118,974,409	
8. 退職給与引当預金	自由金利型定期預金		36,621,900	
9. 減価償却引当預金	自由金利型定期預金		113,000,000	
資 産 合 計		A 1,035,878,174	B 1,352,221,511	2,388,099,685

区 分	所 在・数 量 等	基 本 財 産	運 用 財 産	合 計
(負債の部)		円	円	円
I 流動負債				9,607,237
1. 買掛金	薬品その他諸材料		5,042,096	
2. 未払金	電話料		60,408	
3. 預り金	職員給与所得税他		4,504,733	
II 固定負債				149,621,900
1. 退職給与引当金			36,621,900	
2. 減価償却引当金			113,000,000	
負債合計				C 159,229,137
差引 (B)-(C)			D 1,192,992,374	
正味財産 (A)+(D)				2,228,870,548

注 1. 基本財産たる資産：(株)三越株式 40,199,506株 985,878,174 円  
定期預金 50,000,000 円

2. 固定資産償却累計額は下記の通り

建物造作	51,556,519 円
建物附属設備	122,348,782 円
器具備品	13,651,797 円
合計	187,557,098 円

別表(1)

## 建 物 造 作

構造又は用途・細目	取得年月	数	取 得 価 格	耐用年数	償却定率	年 度 末 簿 価
建 物 造 作	H 4.10	1	166,874,085円	50	0.045	115,317,566円

別表(2)

## 建 物 附 属 設 備

構造又は用途・細目	取得年月	数	取 得 価 格	耐用年数	償却定率	年 度 末 簿 価
電 気 設 備	H 4.10	1	29,084,646円	15	0.142	6,808,716円
衛 生 設 備	〃	1	30,049,424	〃	〃	7,034,571
冷 暖 房 通 風 設 備	〃	1	90,239,392	〃	〃	21,125,040
災 害 報 知 設 備	〃	1	8,502,238	8	0.250	558,591
合 計		4	157,875,700			35,526,918

別表(3)

## 器 具 備 品

構造又は用途・細目	取得年月	数	取 得 価 格	耐用年数	償却定率	年 度 末 簿 価
医療機器						
集団健診用胸部 X線装置固定式	S 49.11	1	9,500,000円	6	0.319	475,000円
小 計		1	9,500,000			475,000
家具電気機器						
受付カウンター	H 4.10	1	4,272,310	8	0.250	280,688
エンドスコープ クロセット	S 62.4	1	436,000	15	0.142	47,462
看板・広告機器						
出退表示設備	H 4.10	1	277,905	10	0.206	31,268
小 計		3	4,986,215			359,418
器具および備品合計		4	14,486,215			834,418
有形固定資産総計		9	339,236,000			151,678,902

別表(4)

## 有 価 証 券 (基本財産)

有価証券内訳 銘柄 株式会社三越

券 種	記 号	番 号	枚 数	株 数
10,000株券	9V	393 ~ 692	300 枚	3,000,000 株
〃	10V	1 ~ 11	11 枚	110,000
不 所 持 株 数				37,089,482
登 録 単 位 未 満 株 式 数				24
合 計				40,199,506

## 収 支 計 算 書 (診療事業特別会計)

平成13年4月1日から

平成14年3月31日まで

### I 収入の部

勘 定 科 目		予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大 科 目	中 科 目				
		円	円	円	
事業収入		315,000,000	335,913,597	△ 20,913,597	
	診療報酬	315,000,000	335,913,597	△ 20,913,597	
雑収入		1,000,000	1,669,669	△ 669,669	
	雑収入	1,000,000	1,669,669	△ 669,669	
当期収入合計(A)		316,000,000	337,583,266	△ 21,583,266	
前期繰越収支差額		278,741,000	158,805,027	119,935,973	
収入合計(B)		594,741,000	496,388,293	98,352,707	

### II 支出の部

勘 定 科 目		予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大 科 目	中 科 目				
		円	円	円	
診療事業費 (診療施設の設置運営への支出)		310,000,000	300,849,420	9,150,580	
	1. 給料	81,000,000	79,720,572	1,279,428	
	2. 手当	37,000,000	38,041,676	△ 1,041,676	
	3. 退職金	1,000,000	0	1,000,000	
	4. 福利厚生費	17,000,000	16,783,239	216,761	
	5. 旅費交通費	3,500,000	2,855,670	644,330	
	6. 臨時雇賃金	18,500,000	15,157,400	3,342,600	
	7. 通信費	450,000	375,821	74,179	
	8. 什器備品費	500,000	968,036	△ 468,036	
	9. 機器リース料	20,000,000	11,556,878	8,443,122	
	10. 検査・材料費	27,000,000	20,783,581	6,216,419	
	11. 薬品費	75,000,000	88,862,969	△ 13,862,969	
	12. 消耗品費	3,000,000	2,917,860	82,140	
	13. 修繕費	4,000,000	2,683,585	1,316,415	
	14. 印刷製本費	3,000,000	2,385,215	614,785	
	15. 水道光熱費	2,500,000	2,657,306	△ 157,306	

勘定科目		予算額	決算額	差異	備考
大科目	中科目				
		円	円	円	
	16. 租税公課	3,300,000	2,404,510	895,490	
	17. 共益費	11,150,000	11,120,484	29,516	
	18. 清掃費	900,000	910,746	△ 10,746	
	19. 雑費	1,200,000	663,872	536,128	
繰入金支出		1,200,000	7,346,000	△ 6,146,000	一般会計へ
	繰入金支出	1,200,000	7,346,000	△ 6,146,000	
法人税等		1,309,000	7,653,500	△ 6,344,500	
	法人・都民税	1,309,000	7,653,500	△ 6,344,500	
当期支出合計 (C)		312,509,000	315,848,920	△ 3,339,920	
当期収支差額 (A)-(C)		3,491,000	21,734,346	△ 18,243,346	
次期繰越収支差額 (B)-(C)		282,232,000	180,539,373	101,692,627	

### 正味財産増減計算書 (診療事業特別会計)

平成13年4月1日から  
平成14年3月31日まで

#### I 増加の部

勘定科目		金額			備考
大科目	中科目				
資産増加額		円	円	円	
	当期収支差額	21,734,346	21,734,346		
増加額合計 (A)				21,734,346	

#### II 減少の部

勘定科目		金額			備考
大科目	中科目				
資産減少額		円	円	円	
			0		
減少額合計 (B)				0	
当期正味財産増減額 (A)-(B)				21,734,346	
前期繰越正味財産額				277,779,436	
期末正味財産合計額				299,513,782	



貸借対照表（診療事業特別会計）

I 資産の部

平成14年3月31日現在

勘定科目		金額	
大科目	中科目	金	額
流動資産	現金預金	274,378,655	円
	未収入金	39,699,746	
	貯蔵品	3,277,841	
流動資産合計			317,356,242
資産合計(A)			317,356,242

II 負債の部

勘定科目		金額	
大科目	中科目	金	額
流動負債	買掛金	10,176,627	円
	未払金	12,083	
	未払法人税等	7,653,750	
流動負債合計			17,842,460
負債合計(B)			17,842,460

III 正味財産の部

勘定科目		金額	
大科目	中科目	金	額
正味財産	正味財産	299,513,782	円
	(うち元入金)	( 118,974,409 )	
	(うち当期正味財産増加額)	( 21,734,346 )	
正味財産合計(C)=(A)-(B)			299,513,782
負債及び正味財産合計(D)=(B)+(C)			317,356,242

財 産 目 録 (診療事業特別会計)

平成14年3月31日現在

区 分	所 在 ・ 数 量 等	基 本 財 産	運 用 財 産	合 計
(資産の部)		円	円	円
I 流動資産				317,356,242
1. 現金預金			274,378,655	
1) 現金	手許有高 471,362 円			
2) 普通預金	三井住友銀行新宿通支店 273,563,779 円			
〃	東京三菱銀行新宿中央支店 343,514 円			
2. 未収入金	保険診療報酬他		39,699,746	
3. 貯蔵品	薬品その他諸材料		3,277,841	
資 産 合 計		A 0	B 317,356,242	317,356,242
(負債の部)		円	円	円
I 流動負債				17,842,460
1. 買掛金	薬品その他諸材料		10,176,627	
2. 未払金	電話料		12,083	
3. 未払法人税等	法人・都民税		7,653,750	
負 債 合 計				C 17,842,460
差	引 (B)-(C)		D 299,513,782	
正 味 財 産 (A)+(D)				299,513,782